

平成25年9月30日

水道局

市政記者各位

新たな国際貢献をはじめます！！

フィジー共和国水道事業に対する技術協力について

- 1 福岡市は、フィジー共和国水道事業に対して、水道管からの漏水防止や水道施設の維持管理について、技術協力をを行います。（JICA 草の根技術協力事業）

○フィジー共和国へ水道の技術協力をを行うのは、**福岡市が初めて**です。

○この事業は、福岡市水道局のOB職員がフィジー共和国において「JICAシニア海外ボランティア」として活動していた（平成22年9月～24年9月）ことをきっかけに、**フィジー共和国から福岡市へ、水道に関する技術協力の希望**が伝えられていたことから、事業の実現となったものです。

○この事業を進めることで、様々な効果が期待できます。

- ・相手国技術者の技術力向上による**継続的な給水環境の改善**
- ・福岡市のプレゼンスの向上、**両国間の協力関係の構築**
- ・国内資材調達等による**地域経済への貢献**
- ・福岡市水道技術者の**人材育成** など

2 技術協力の概要（JICA 草の根技術協力事業※を活用して実施）

（1）事業名 フィジー共和国 ナンディ・ラウトカ地区水道事業に関する無収水の低減化支援事業

（2）目標 福岡市が有する世界トップレベルの節水技術を活かし、漏水防止や水道管の維持管理（管修理技術など）などに関する技術協力をを行い、無収水量（漏水など）の低減化を図る

（3）予定事業費 約 5,500 万円（研修経費等 4,000 万円、資材調達等 1,500 万円を予定）

（4）実施期間 平成 25 年 11 月～平成 28 年 10 月（3年間）（予定）

（5）活動内容 ①フィジー共和国における技術水準向上のため、**技術者を派遣**する
②福岡市にてフィジー共和国の水道技術者の**研修を****実施**する
③事業に必要な**資機材**（漏水探知機や流量計など）を**国内で調達し供与**する

（注）今後、相手国との協議により活動内容が変わる可能性があります。



《お問い合わせ先》

福岡市水道局 経営企画課 秋山、尾上
電話 483-3107（内 148-3107）

※ JICA 草の根技術協力事業

草の根技術協力事業は、国際協力の意志を持つ日本の NGO、大学、地方自治体及び公益法人等の団体による、開発途上国の地域住民を対象とした協力活動を、JICA が政府開発援助 (ODA) の一環として、促進し助長することを目的に実施する事業です。

■福岡市では、従前より、水道創設 90 年の中で培ってきた「限りある水資源を有効利用する」節水技術を活かし、アジア地域などへの技術協力を推進してきたところです。

■世界でも有数のリゾート地といわれるフィジー共和国には世界中から観光客が集まるため、この事業を進めることは、節水型都市づくりを進めている福岡市をもっと世界に知ってもらうチャンスであると考えています。

(参考) フィジー共和国上水道の概要・課題

【相手国協力対象】

フィジー上下水道公社 西部水道事務所
(ナンディ・ラウトカ地区水道事業)

【ナンディ・ラウトカ地区水道事業の概要】

- 施設能力：ナガンド浄水場等 約10万m³ /日
(高宮浄水場の約半分)
- 給水人口：約9万人 (福岡市中央区の約半分)
- 一人あたりの最大能力
(施設能力/給水人口で計算)：約1100L /人・日
(福岡市の2倍以上)



【ナンディ・ラウトカ地区の抱える課題】

当該地区は地形的に高低差が激しいにもかかわらず、全て自然流下方式で配水しているため、低い地区は水圧過剰となり、水道管からの漏水などによる無収水量が増加し、水道事業経営に大きな影響を与えている。

高い無収水率(50%以上)の改善が最大の課題



世界トップレベル(福岡市の漏水率は 2.6%)の
節水技術で運営改善

